

1. 総論

【総括判断】「新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある」

| 項目 | 前回（2年10月判断） | 今回（3年1月判断） | 前回比較 |
|------|---|--|------|
| 総括判断 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる | 新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある | ➡ |

（注）令和3年1月判断は、前回2年10月判断以降、3年1月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、観光等が足下で急速に弱まっているものの、スーパーが堅調であるほか、家電大型専門店等が順調となっていることから、全体としては感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、輸送機械が弱い動きとなっているものの、窯業・土石が持ち直しつつあるほか、電気機械で緩やかに持ち直しつつあることから、全体としては下げ止まっている。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。

【各項目の判断】

| 項目 | 前回（2年10月判断） | 今回（3年1月判断） | 前回比較 |
|----|-------------|------------|------|
|----|-------------|------------|------|

| | | | |
|------|--------------------------|-------------------------------------|---|
| 個人消費 | 感染症の影響が残るものの、緩やかに持ち直している | 感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している | ➡ |
| 生産活動 | 下げ止まりの動きがみられる | 下げ止まっている | ➡ |
| 雇用情勢 | 感染症の影響により、弱い動きとなっている | 感染症の影響により、弱い動きとなっている | ➡ |

| | | | |
|--------|----------------|----------------|---|
| 設備投資 | 2年度は前年度を下回る見込み | 2年度は前年度を下回る見込み | ➡ |
| 企業収益 | 2年度は減益見込み | 2年度は減益見込み | ➡ |
| 企業の景況感 | 現状判断は「下降」超 | 現状判断は「上昇」超 | ➡ |
| 住宅建設 | 前年を下回っている | 前年を上回っている | ➡ |
| 公共事業 | 前年度を上回っている | 前年度並みとなっている | ➡ |

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、感染拡大による社会経済活動への影響が地域経済を下振れさせるリスクに十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している」

スーパーは、衣料品や身の回り品が弱い動きとなっているものの、飲食料品が堅調であることから、全体としては堅調となっている。コンビニエンスストアは、デザートや冷凍食品等に動きがみられることから、全体としては底堅いものとなっている。ドラッグストアは、新規出店効果に加え、マスク等の衛生用品や飲食料品に動きがみられることから、全体としては順調となっている。家電大型専門店は、テレビや冷蔵庫等に動きがみられることから、全体としては順調となっている。ホームセンターは、園芸用品やマスク等の衛生用品に動きがみられることから、全体としては順調となっている。百貨店は、衣料品や飲食料品が低調であるものの、身の回り品に動きがみられるなど、全体としては持ち直している。乗用車販売は、普通車、小型車、軽乗用車のいずれにおいても前年を上回っている。観光は、緩やかに持ち直していたものの、感染者数の増加に伴う外出控えなどから、足下では急速に弱まっている。旅行は、国内旅行は緩やかに持ち直していたものの、足下では急速に弱っており、海外旅行は不調となっている。

(主なヒアリング結果)

- 外出機会の減少の影響が続いており、衣料品については依然として動きが弱いのが、外食を控えて家庭内での食事を志向する傾向は続いていることから、食料品については生鮮食品等を中心に引き続きよく動いている。(スーパー)
- 感染症の影響によるイエナカ需要の高まりで、テレビを中心に買い替えがみられる。(家電大型専門店)
- 入込客数は回復傾向だったものの、感染症の再拡大に加え、Go Toトラベル事業の一時停止によって、足下では急激に減少している。(観光施設)

■ 生産活動 「下げ止まっている」

輸送機械は、受注が減少していることから、弱い動きとなっている。窯業・土石は、建設工事などに動きがみられることから、持ち直しつつある。電気機械は、自動車向けの需要に持ち直しの動きがみられることから、緩やかに持ち直しつつある。こうしたことから、全体では下げ止まっている。

- 感染症の影響により、外航船では商談が進まず、厳しい受注状況が続いている。(輸送機械)
- 土木工事向けの需要に動きがみられることから、順調に推移している。(窯業・土石)
- 自動車の輸出に動きがみられていることから、生産量は緩やかに持ち直しつつある。(電気機械)

■ 雇用情勢 「感染症の影響により、弱い動きとなっている」

有効求人倍率は、横ばいとなっている。新規求人数は、前年を下回っている。

- 宿泊業、飲食サービス業では、Go To キャンペーンをきっかけに、回復の兆しもみられていたが、再び感染者が増加するにつれて、求人数を減少させた施設・店舗がみられるようになった。(労働局)
- 感染症の影響により、プライダル向け需要が減少していることから、勤務時間の短縮や休職で対応。雇用調整助成金も活用しているが、終了後の対応については見通しが立たない。(小売業)

- **設備投資** 「2年度は前年度を下回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年10-12月期調査
 - 全産業で13.0%の減少見込みとなっている。
 - これを業種別にみると、製造業で10.3%、非製造業で18.6%の減少見込みとなっている。
- **企業収益** 「2年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年10-12月期調査
 - 全産業で24.4%の減益見込みとなっている。
 - これを業種別にみると、製造業で25.2%、非製造業で21.4%の減益見込みとなっている。
- **住宅建設** 「前年を上回っている」
 - 新設住宅着工戸数でみると、持家及び貸家で前年を下回っているものの、分譲で前年を上回っており、全体としても前年を上回っている。
- **公共事業** 「前年度並みとなっている」
 - 前払金保証請負金額(令和2年度12月累計額)でみると、管内合計は前年度並みとなっている。
 - 発注者別にみると、独立行政法人等において前年度を上回っているほか、県において前年度並みとなっているものの、国及び市町村において前年度を下回っている。

3. 各県の総括判断

| | 前回(2年10月判断) | 今回(3年1月判断) | 前回比較 | 総括判断の要点 |
|-----|--|--|------|--|
| 香川県 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、下げ止まりの動きがみられる | 新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある | ➡ | 個人消費は、感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、下げ止まっている。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。 |
| 徳島県 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある | 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるなど、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある | ➡ | 個人消費は、感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、感染症の影響が残るものの、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。 |
| 愛媛県 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある | 新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある | ➡ | 個人消費は、感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、下げ止まりの動きがみられる。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。 |
| 高知県 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる | 新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある | ➡ | 個人消費は、感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、下げ止まっている。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。 |